

指定管理施設事業評価票(令和5年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 栗山観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市平家の里		
	所在地	日光市湯西川1042番地外		
指定管理者	名称	平家の里湯西川協同組合		
	代表者名	代表理事 山城晃一		
住所	日光市湯西川1042番地			
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日		5 年間	
選定方法	非公募	評価実施年	5 年間のうち	3 年目
施設設置目的	地域における農林業の振興と、地域の活性化を図り、魅力ある観光資源の開発に資する。			
主な実施事業	資料館、展示館			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 入場者数	人	56,000	20,365	56,250	47,793	56,550	43,149				
b											
c											
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計 A	14,502,177	26,664,160	27,033,130	0	0
指定管理料	0	174,203	45,062		
利用料収入 C	9,438,963	20,702,410	20,783,860		
自主事業収入	0	0			
その他	5,063,214	5,787,547	6,204,208		
支出計 B	19,319,392	24,423,040	25,698,880	0	0
指定事業費	19,319,392	24,423,040	25,698,880		
内人件費 D	10,625,485	11,847,605	12,781,143		
内外部委託費 E	35,640	35,640	35,640		
自主事業費	0				
事業収支 A-B	-4,817,215	2,241,120	1,334,250	0	0
人件費率 D/B	55.00%	48.51%	49.73%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	0.18%	0.15%	0.14%	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
	外部委託	事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	法令遵守等	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	個人情報保護	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。 個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
	情報公開	個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。 情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	連絡調整	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
	緊急対応	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。 協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B
	緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	総括	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B	B
「業務の実施体制」に関する評価【17項目】				
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
	利用者対応	事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	事業運営	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
	維持管理	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	環境配慮	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	広報活動	事業計画に従い、受託事業を実施している。	B	B
	苦情等対応	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
	利用者アンケート	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	利用状況	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
	総括	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】				
③ 安定性	経理事務	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
	予算執行	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	経費縮減	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	収支状況	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	総括	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
「経費の収支等」に関する評価【4項目】				
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	(所管課評価)	利用実績は、目標水準である。	B	B
	(指定管理者自己評価)	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	(所管課評価)	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	(指定管理者自己評価)	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	(所管課評価)	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	= 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	= 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	= 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。

※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。

総括評価 A(優良)	= 評価項目のうち、A判定が80%以上	総合評価 A(優良)	= 自己評価、所管課評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
B(良好)	= A、C 以外	B(良好)	= A、C 以外
C(要改善)	= 評価項目のうち、C判定が20%以上	C(要改善)	= 自己評価、所管課評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。